

経営比較分析表（令和3年度決算）

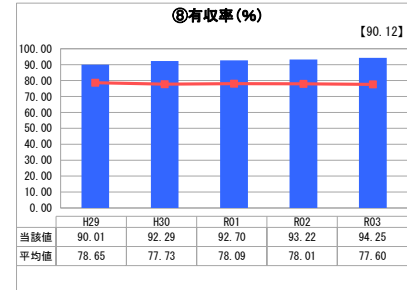
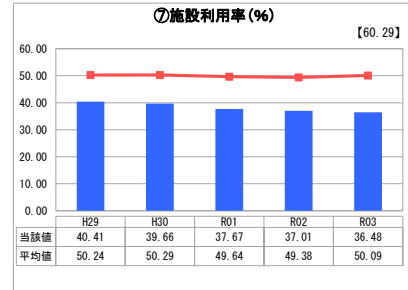
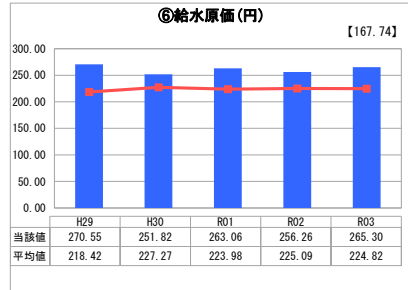
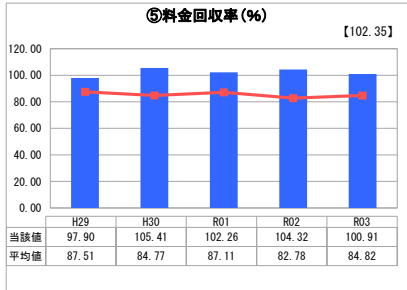
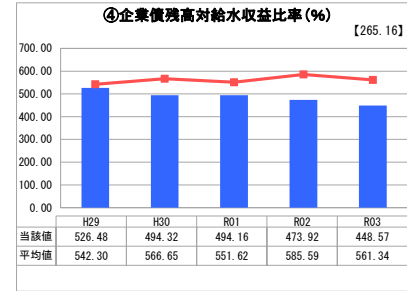
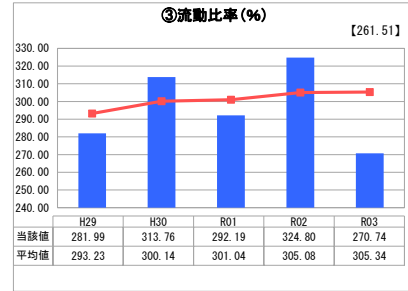
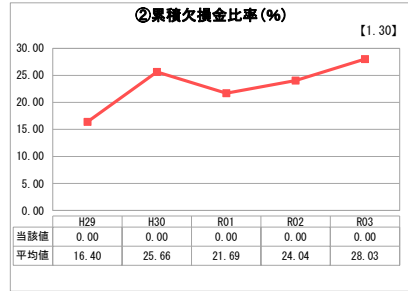
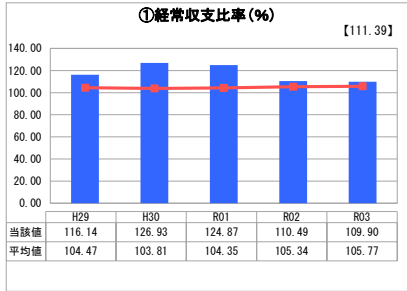
石川県 穴水町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	75.19	81.33	5,126	

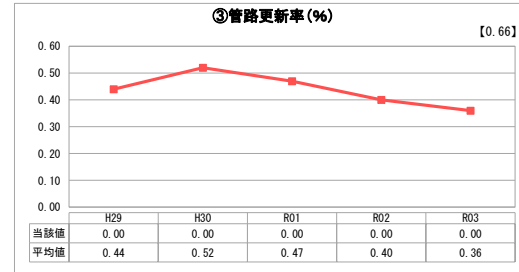
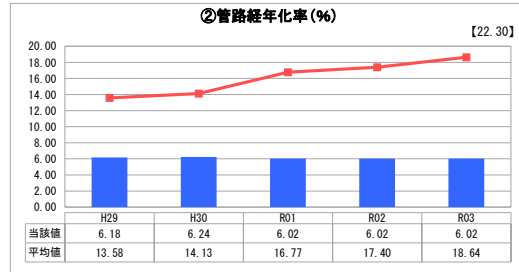
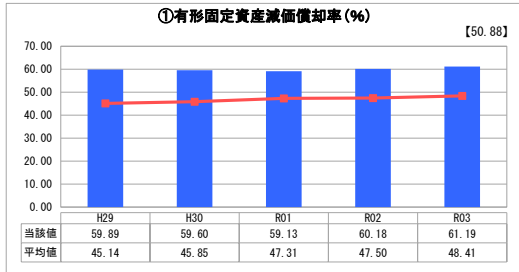
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,754	183.21	42.32
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,233	44.80	139.13

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、黒字を示す100%以上を維持しており、また、類似団体平均値を上回っています。
- ②累積欠損金は発生していません。
- ③流動比率は、100%を超えているが、類似団体平均値を下回っている状況である。短期的な資金繰りには問題ないものと考えられるが、管渠など更新需要の増加が見込まれることから長期的な経営状況を考慮し、企業債残高対給水収益比率が増加しすぎないように留意しながら、計画的に進める必要があります。
- ④企業債残高対給水収益比率については、類似団体平均値を下回っていることから、現在の投資規模及び料金水準についても適正であるとする。
- ⑤料金回収率は、類似団体平均値を上回っているが、更に経費削減に努める必要がある。
- ⑥給水原価は、引き続き類似団体平均値を上回っており、維持管理費の削減に努める必要がある。
- ⑦施設の効率性を表す施設利用率は、類似団体平均値を下回っており効率性が悪く、施設縮小を含めた更新やダウンサイジングでの更新を行う必要がある。
- ⑧有収率は、類似団体平均値を大きく上回っており、配管状況は良好である。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値を上回っており、施設全体の老朽化が進み、計画的な修繕・更新が課題である。
- ②管路経年化率は、類似団体平均値を下回っており、老朽管路割合が少ない。今後は、中長期的な更新需要・財政収支見通しに基づき、アセットマネジメント（資産管理）の継続的な実践が求められる。

全体総括

経営状況は、経常収支比率が100%を上回っており良好であるが、今後は管路の更新といった老朽化対策等に伴い、更なる更新需要の増加が見込まれる。また、水需要の減少による給水収益の低下、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等計画的な更新が必要である。